

## 平成27年第4回さくら市議会定例会一般質問通告者一覧

平成27年11月30日

質問順番	質問者名	頁
1番	永井 孝叔 議員	1～2
2番	岡村 浩雅 議員	3
3番	櫻井 秀美 議員	4～5
4番	若見 孝信 議員	6
5番	加藤 朋子 議員	7

平成27年12月1日

質問順番	質問者名	頁
1番	大河原 千晶 議員	8
2番	小堀 勇人 議員	9
3番	小菅 哲男 議員	10
4番	笹沼 昭司 議員	11

1. 環境対策について

さくら市は、豊かな自然を基盤とし、先人たちのたゆみない努力の積み重ねにより、歴史と文化をはぐくみながら発展してきた。

この豊かな自然環境や生活環境を守り育て、21世紀に生きる子どもたちに引き継いでいくことは、今を生きる私たちに課せられた大きな責務である。

しかしながら、大野地区の一部においては、事業活動などによって悪臭等が発生し、地域住民の方々の生活環境が著しく脅かされている。

このような状況を踏まえ、本市においては、環境の保全についての基本理念を定めて、市、事業者、市民及び滞在者の責務を明らかにするとともに、環境保全施策を総合的、計画的に推進し、現在及び将来の市民の健康で快適かつ文化的な生活の確保に寄与することを目的とした「さくら市環境基本条例」を制定している。また、この条例に掲げる基本理念とさくら市振興計画で掲げる緑豊かで秩序あるまちづくりを実現するため、環境基本計画を策定し各種環境対策を展開していると聞く。

そこで、環境基本条例や環境基本計画等に基づき、喫緊の課題である市の環境苦情発生地区での生活環境の保全及び生活衛生の向上対策にどう取り組んでいくのか、市長の考えを伺う。

答弁を求める者 市長

2. 地域子育て支援拠点の整備について

少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など、子どもや子育てをめぐる環境は大きく変化している。

こうした中、家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や不安感の増大等に対応するためには、子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の整備を推進する必要がある。

県内では、既に大田原市において親子のふれあいを創出し、子育ての負担感の軽減と子育て環境の充実を図るため「子ども未来館」を設置し、市内はもとより県内各地から多くの親子が訪れて活況を呈していると聞く。

そこで、本市においても交通の利便性が高い蒲須坂駅周辺に子育て支援拠点を整備し、子育て親子の交流等を促進すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

答弁を求める者 市長

### 3. 女性活躍推進について

女性が、職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するため、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」が制定された。

これにより、国・地方公共団体、労働者 301 人以上の企業は、平成 28 年 4 月 1 日までに、女性の活躍促進に向けた行動計画の策定などが新たに義務付けられることとなった。

こうした中、さくら市では女性職員で管理職になっている職員が現在一人もいないとの報道がなされたところである。

そこで、本市では女性活躍推進法に基づき、どのような計画を策定し、女性の活躍をどう推進していくのか市長に伺う。

答弁を求める者 市長

岡村浩雅 議員

1. 振り込め詐欺防止について

- ①市内における現状及び振り込め詐欺防止のための周知方法について
- ②さくら警察署との情報共有はどの程度できているのか。
- ③振り込め詐欺撃退機器助成（全部・一部）の考えはあるのか。

答弁を求める者 市長

2. デマンド交通今後の展開

- ①運行区域が広がって1年となる。今年度の市全域、地域別利用者数は。
- ②氏家地区で利用者が伸びていない理由についてどのように考えているか。
- ③利用を考えている市民に対し、無料お試し乗車会を開いてはどうか。
- ④市民はタクシーと同じような使い方ができかつ安価な料金が望ましいと考えているが、このような制度まで考えているのか。

答弁を求める者 市長

3. 高齢者福祉の充実について

- ①介護ボランティア制度、過去平成21年12月、23年9月、26年6月と一般質問があったが、その後本市としてどのように調査・研究がなされたか。
- ②介護ボランティア制度導入についての考え。
- ③認知症による徘徊の件数及び徘徊があった場合の対応。
- ④安価でかつ個人情報漏洩の危険もない、みまもりカードの導入についての考え。

答弁を求める者 市長

櫻井秀美 議員

1. 塩谷広域行政組合ごみ処理施設整備事業について

- ① 11月6日の塩谷広域行政組合の全員協議会での質疑応答で副管理者である市長は環境省の手引きの存在を「知らなかった」と答弁しています。こちらでは本年10月と聞いておりますが何時知りましたか？
- ② 10月22日塩谷広域行政組合管理者要請で議員協議会が開催されその席上市長は、市議会で「この施設の市負担金が、予算審議で否決された場合専決処分をする」と発言しましたが現在もその気持ちですか？
- ③ 今回の入札結果、設計建設99.94%運営管理99.97%の落札率となりましたが、この落札率で競争原理が働いたと言えますか？
- ④ 宇都宮市で計画のごみ処理施設は本施設と同じストーカ方式で日量190トン、発電施設あり、約90億円、平成32年4月完成予定と発表されておりますが御承知ですか？

答弁を求める者 市長

2. さくら市ミュージアム荒井寛方記念館について

- ① 春の院展出品作で那波目功一氏作品「桜に観る日光連山」を前館長よりの申し送りで購入すると聞いているが真意は？
- ② 荒井寛方の所定鑑定人が死亡により現在おりません。そのため、荒井寛方の作品の価値が3割程度下落しています。このままでは、価値がなくなるだけではなく荒井寛方の存在すら忘却されてしまいます。そこで所定鑑定人を誰かにお願いするか、当博物館でやるか等の対策が必要と考えるが？
- ③ 当博物館より他の美術館に貸し出した作品が過去10年間で18作品と非常に少ない。美術収蔵作品1697作品あるが、他の美術館が欲しがらる作品が少ない現状が表れている。さくら市の美術愛好家のコレクションは栃木県でも有数のコレクターが存在している、これらの作品を寄託して貰い当博物館の質を上げることも必要ではないかと考えるが？

答弁を求める者 市長

3. さくら市の入札について

- ① 平成 27 年 10 月現在を含め過去 5 年間の入札に関する落札率「全業種平均」を見ると 22 年 87.68%、23 年 91.76%、24 年から 27 年までは 95%ぐらいで推移している、塩谷広域の 99.97%、99.94%とは比較になりませんが、高率な落札になってきている。その対策は考えているのか？
- ② 工種ごとにみると電機ととび、土工、コンクリートは 80%台で落札率が低い。他は全て高止まりの 95%から 98%になっている。地元育成は判るが競争原理が働いていると言えるのか？

答弁を求める者 市長

4. 笹屋呉服店別邸周辺の計画について

- ① 笹屋呉服店別邸の補正が今定例会に出されるようだが、その周辺の計画はどこまで出来ているか？出来ていれば、その概要を説明ください。

答弁を求める者 市長

若見孝信 議員

1. 児童虐待の防止等について

- ①さくら市の児童虐待相談対応件数と状況は。
- ②児童虐待の内容や原因はどのような分析をしているか。  
さくら市独自の傾向や課題など。
- ③全国共通相談ダイヤル「189」のさくら市関連の利用（受付）状況は。
- ④さくら市において高い重症事例や困難事例は、どの程度発生しているか。
- ⑤県・警察・市の役割分担や連携体制はどのようになっているか。
- ⑥児童相談所で保護された子どもへの（親も）支援や見守りなどを主体的に担う市の考えは。

答弁を求める者 市長、教育長

2. 移住者の「しごと」づくりについて

- ①さくら市の産業の状況と育成について
- ②移住者増加策と起業支援について
- ③地域おこし協力隊の取り組みについて

答弁を求める者 市長

加藤 朋子 議員

1. さくら市のスポーツ振興策を問う

2020年東京オリンピック、パラリンピック開催に備えて、国は1961年に制定した「スポーツ振興法」を50年ぶりに改定し、2011年にスポーツ基本法を成立させた。この基本法によってすべての国民がスポーツをする権利、スポーツを楽しむ権利が初めて規定され、国や自治体はそれを保証する責任を負うということが明文化されたところである。

当市においても「市民スポーツ」をスローガンに、市民がスポーツに親しめる環境整備を続けており、一定の成果を挙げてきたものの、まだまだ充足が必要な分野がある。

基本法では「スポーツは、世界共通の人類の文化」であり、今後は国家戦略としてスポーツ立国の実現をめざすとある。法制定を踏まえて、当市として今後どのようなスポーツ振興計画を進めていくのかを市長に問う。

答弁を求める者 市長



大河原 千晶 議員

1. 定住人口促進策について

- ① さくら市は今年度より未来創造推進室も設置され、定住促進に力をいれていると見受けられるが、定住促進策を打ち出すにも調査、情報収集は欠かせない。そこで、さくら市ではどの地区にどれだけの人数の推移があるのか。そして、その分析結果をもって、今後の定住促進策に反映させていくのか考えを問う。
  
- ② ①を受け、県のマスタープランとの連携についてはどのように取り組んでいくのか。

答弁を求める者 市長

2. 家屋敷課税の進捗と調査結果の活用について

平成27年3月定例会での一般質問において家屋敷課税について取り上げたが、その後徹底した調査により是正することであった。年度が変わった今、その後の進捗状況と、調査により明らかとなった課税対象者の数、そして一般質問でも提案したが、調査により同時に明らかとなった空き家の数とその活用についてさくら市の考えを問う。

答弁を求める者 市長

3. 高齢化対策に向けた取り組みについて

- ① 「広く市民の各層参加を得て、スポーツ・レクリエーションの普及発展を図り、市民相互の親睦と明朗にして健全な市民生活に寄与しようとする」ということを目的として開催された市民体育祭だが、高齢化率が年々高まる市内において今後の体育祭のあり方をどう考えているか。また、その取り組み方も問う。(実施されている種目を幅広い年齢層にも楽しめるものにするなど)
  
- ② 高齢化の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ地域協力活動を行ってもらいその定住・定着を図る「地域おこし協力隊」。県内自治体でも年々その制度を利用するところが増えてきているが、わがさくら市でも導入する考えはあるか。

答弁を求める者 市長

小堀 勇人 議員

1. 防災・減災対策について

①平成27年9月関東・東北豪雨における一連の市の対応をどのように評価するか。

②今後、発生が懸念される災害への準備として、どのような対応を進めていくのか。

答弁を求める者 市長

小 菅 哲 男 議員

1. エネルギーの地産地消の推進と新電力（P P S）について

- ①災害対応力の向上や地域経済の活性化、産業の振興のためにエネルギー（電力）の地産地消を推進すべきと考えるが現状と今後の所見を伺う。
- ②新電力（P P S 特定電気事業者）からの電力調達の考えは。

答弁を求める者 市長

2. 定住人口増進に関する、Uターンの促進と企業誘致について

- ①本市の定住人口増進対策における、Uターン促進の位置づけ、取り組み方針について伺う。
- ②転入者のなかで、Iターン、Jターン、卒業時のUターン、それ以外のUターンが占める割合はどの程度か。
- ③合併後10年間の事業所の数の推移は。
- ④現在の具体的な企業誘致活動はどの様に行っているのか。

答弁を求める者 市長

3. 本市の防災体制について

- ①本市の防災体制は万全であるか、現状と今後の留意点は。
- ②どの様な段階で防災対策本部が設置され、どの様な経緯、体制で避難勧告、避難指示が出されるのか。また市民への周知はどの様に行っているのか。

答弁を求める者 市長

笹 沼 昭 司 議員

1. 女性職員の管理職登用について

- ①女性職員の人数、比率、採用状況は
- ②管理職に占める女性比率とその低い理由は
- ③女性活躍推進に向けた課題と今後の取組みについては

答弁を求める者 市長

2. プレミアム商品券の継続発行について

- ①プレミアム商品券の概況と市民及び事業者の評価は
- ②地域経済への効果は
- ③今後の取組みについては

答弁を求める者 市長

3. 早乙女桜並木の樹勢回復について

- ①桜守活動の状況と予算及び参加人数は
- ②早乙女桜並木の樹勢回復への取組みは

答弁を求める者 市長

4. 予算の執行状況について

- ①上半期の予算の執行状況は
- ②年度内の見通しは
- ③市税の収納状況は
- ④市税のコンビニ収納の効果は

答弁を求める者 市長

5. 新年度の予算編成方針と重点施策について

- ①さくら市まち・ひと・しごと創生総合戦略と財政規律について

答弁を求める者 市長